

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2018年度 第4号

新年明けましておめでとうございます。昨年中は当研究所の試験研究推進にご理解・ご協力を賜り誠に有難うございました。本年も地域と共に歩み、使える技術開発を目指して職員一同邁進してまいりますので、引き続きご指導、ご協力をよろしくお願い致します。さて、現在は試験結果の取りまとめ、成果検討会に向けた準備を進めております。今年も多くの皆様方の参加をお待ちしております。



©岐阜県

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2丁目6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751

中津川支所 〒508-0203 岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL: 0573-72-2711 FAX: 0573-72-3910

研究所ホームページ <http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

●国際大会(米・食味分析鑑定コンクール)で「飛騨のお米」が大躍進!

お米の国際大会が11月26日～27日に高山市民文化会館で開催され、国内外から過去最高となる5,717点が出品されました。飛騨地域からは393点が出品され、そのうち飛騨のお米は最も名誉ある国際総合部門で金賞20点の内12点を、次席の特別優秀賞25点の内8点を占めました。他にも小学校部門などでも多数受賞し、岐阜県からの受賞総数は国内で最多となりました。

今大会における「飛騨のお米」の大躍進は、生産者をはじめ農業に関係する機関が一体となり「総合力」を発揮した成果と考えています。この中で当所では、4年前から良食味の栽培管理技術の研究、講習会などの技術支援を進めるとともに、コンクールの結果を解析し、問題点の抽出と改善提案を行ってきました。今後も、おいしい飛騨米の栽培研究や生産支援を行っていきます。



結果発表に沸く生産者



食味向上研修会での講演

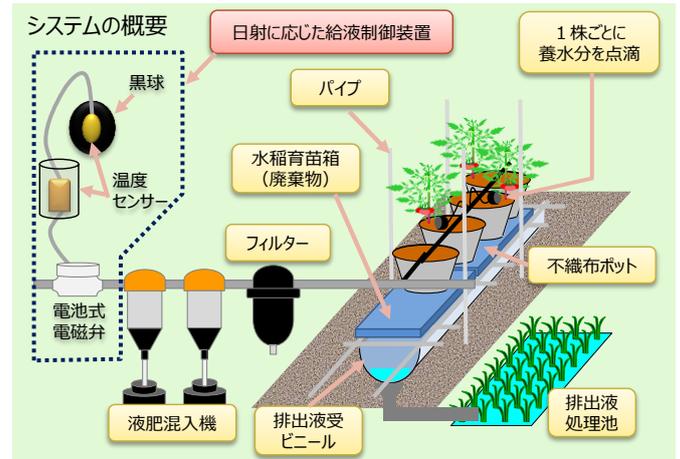
【本所作物担当 可児友哉】

夏秋トマト3S（隔離型培地耕）システムの普及に向けて

当所では、夏秋トマトの多収穫（20t/10a）と土壌病害の回避を目的に、新しい栽培システム（右図）を開発し「夏秋トマト3Sシステム」と命名しました。本年は最終段階として、普及上の課題を抽出するため多くの農家にご協力を頂き、現地での栽培試験を行いました。

初めて取り組む生産者が多い中で、目標を達成できた方が多くみられました。一方で、新たな課題として、効率的な作業方式の導入、葉かきに伴う土壌病害対策、停電対策など、いくつかの課題が抽出できました。

現在作成中のマニュアル（平成31年3月発行予定）にこれらの対応を反映させるとともに更なる技術開発を行っていきます。



栽培システムの概要



6月12日中津川市現地



6月13日高山市現地

現地での栽培状況

【支所野菜担当 熊崎晃】

【本所野菜担当 浅野雄二】

試験研究成果検討会のお知らせ

これまでの研究成果を皆様方に発表する成果検討会を下記のとおり開催します。

多数の皆様の参加をお待ちしております。

参加希望の場合は事前にご連絡ください。

○本所

日時：平成31年1月31日(木)13:00～

場所：飛騨総合庁舎3階大会議室

○中津川支所※

日時：平成31年2月7日(木)13:00～

場所：恵那総合庁舎5階大会議室

※恵那農林事務所農業普及課との合同成果検討会

